

News Letter

2015.04
Vol. 01

Contents

- > 病院長挨拶
- > センター概要・体制図
- > センター長挨拶・副センター長挨拶
- > 活動報告

ごあいさつ



大分大学医学部附属病院長 津村 弘

大分大学医学部附属病院は、県内唯一の医育機関として、地域医療に貢献できる医師を育成すること、また先進的で安全安心な医療を提供することを使命としております。そのため、医療に従事する職員の働きやすい環境を整備することは大切なことです。昨今、看護部のみならず、薬剤部、コメディカル部門でも女性の割合は多くなり、また女性医師の割合も増加しております。しかし、医療に従事する女性には、出産育児などでキャリアを中断せざるを得なかったり、その後の職場復帰が困難になったりするなどの本人だけでは解決し難い問題があります。

このような女性医療人のキャリア継続を支援することは、個人にとってだけでなく、本病院にとっても地域医療にとっても、重要なことです。そこで、このたび大分県の助成を受け、「女性医療人キャリア支援センター」がこの附属病院に開室することとなりました。女性医療人のキャリア継続、キャリアアップを支援する体制づくりと、それを支える医療人全体の意識啓発を行って参ります。

このセンターにより、附属病院の女性の活躍を推進し、そのことにより病院全体の質の向上、ひいては地域医療への貢献につながることを願います。

センター概要

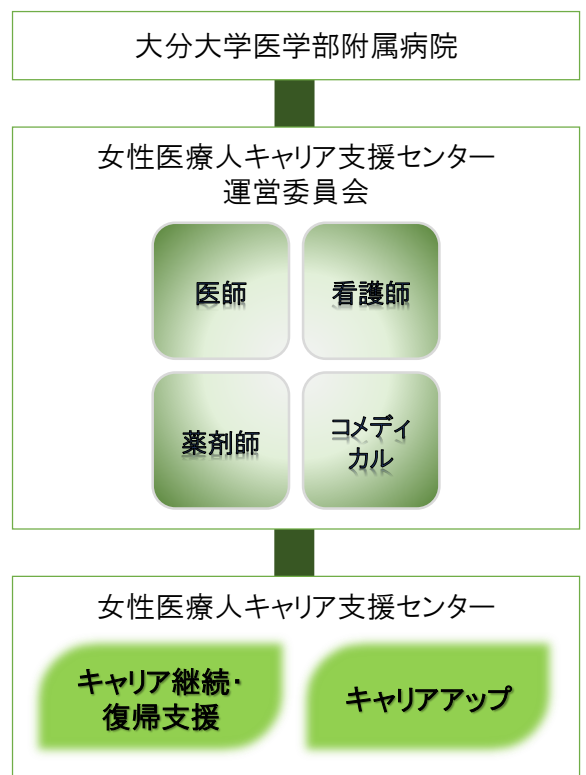
このセンターは、大分大学医学部附属病院で医療に携わる医療人(医師、看護師、薬剤師、コメディカル)のキャリア継続、復帰、およびキャリアアップを支援することを目的としています。

女性医療人が現在どのような問題を抱え、どのような支援を必要としているのか、多くの医療人の声を聴きながら支援策を構築するとともに、女性のみならず医療人全体の意識啓発を行います。

*Career Path Support Center
for
Medical Staff*

医療に携わるすべての人々をサポートするセンターを目指します。

体制図



ごあいさつ

センター長 藤木 稔

脳神経外科学 教授

女性医療人キャリア支援センターが本学附属病院で走り始めました。大分県と、この領域を先駆的に推進された学長のご尽力の賜です。女性医療人全てが働きやすく、何にでも前向きにチャレンジできる環境。それは男女共に、さらにはこれから医療人たる若い世代が切望するに違いありません。道は平らでも一本でもないからこそ、単独ではない多くの力を結集してなしえる仕事と確信いたします。皆様のダイレクトな声をお伺いする事をその最初の一步と心得、努力して参ります。



副センター長 松浦 恵子

学長補佐・男女共同参画推進室長・分子病理学 准教授

大分大学では平成22年度から男女共同参画推進が始まり、約5年にわたり、研究者の両立支援や環境整備、キャリアアップに努めてまいりました。このたび附属病院で医療人に対する支援を行うセンターができ、ようやく医療に携わる方々への取り組みがなされることとなります。まず女性医療人が仕事と育児等の両立のために何が必要なのか、どうすれば安心して仕事を継続できるのか、離職しないためには、また復帰するためにはどんな支援があればよいのか、一人でも多くの声を聞き、一人でも多くの方の役に立てるような支援体制を整えていきたいと思っています。病院長、センター長をはじめとするスタッフの方々と共に、歩み始めたセンターを実りあるものとしていく所存です。

活動 報告

全国施設訪問 Part 1



九州大学病院きらめきプロジェクト キャリア支援センター

3月10日(火)、九州大学病院きらめきプロジェクトキャリア支援センターを訪問しました。

当日は、第5回スタッフ発表会が開催され、一年間の活動内容を掲載したポスターを拝見することができました。

また、ランチタイムには、スタッフの方々のお話を伺うお時間をいただきました。みなさん、志が高く、誇りを持って活動されている様子がとても印象的でした。

同じ九州にこのような先駆的なセンターがあることは大変心強く、駆け出したばかりの私たちにとっては吸収するものが多い、大変有意義な時間を過ごすことができました。

(女性医療人キャリア支援センタースタッフ 阿部)